

候補者の詮衡は 幹部一任と決して

昨日の政友委員会を散會
今日中に決定か
ノビノビになつた石城政友
派候補者詮衡に關しては既
報の如く昨日午後一時から
詮衡委員会を開いたが是れ
より先き谷口樓にて
熟議中の最高幹部會
が容易に詮衡方針決定せず
適當な候補者と目すべきも
のは絶對に固辭して受けな
い爲め委員會の議に附す迄
の進行を見るに至らない結
果幹部一任と決し午後四時
半頃散會したが最高幹部は
本日も早朝から大村屋旅館
で秘密會議を重ねて居るか
ら今日中には愈々
決定を見る事になる
であらうが此瀬戸際に若し
遅れをきたる様な事があつて
は御家の一大事と氣を揉み
盡して居る黨員も尠くない
× × × × × × × × × × × ×

江名産肥料の奨励

從來郡内から顧みられぬ
のは甚だ遺憾と當局躍起
石城郡江名産にては魚粕肥
料の生産盛んであつて一ヶ
年の産額は唐人粕及び赤魚
粕三千貫雜粕四千八百貫鯉
魚粕一萬八千貫を算して
居るが是等の肥料は殆んど
郡内農家には顧みられず大
半は茨城縣に輸送さるる状
態である、然るに是等の肥
料は左記性を含有し
品名 窒素 磷酸
唐人粕 七、五 五、五
赤魚粕 九、二 五、〇
雜粕 五、五 九、五
鯉魚粕 五、五 九、五
充分肥料としての資格條件
を具備して居るから若し是
れを郡内に輸出する價格よ
れば他地に輸出する價格よ
りは運賃や商人の仲介費が
はぶけ一圓にて二貫多位の
價格を以つて購入する事が
出來農家經濟の上に非常な

合併解決案

鹿島校の
縣廳から認可
小學校問題で紛糾を重ねて
居た石城郡鹿島村にては矢
田、藏持の兩農業補習學校
を併せて鹿島農業補習學校
と改め鹿島尋常小學校に高
等科を置く事を決議し申請
中の處此程認可の指令があ
り多年の懸案は解決さる
教員住宅資金
石城郡内に教員住宅資金
を配附されたのは左の通り
△二百八十六圓、三阪組
合村△二百卅六圓、内郷

常磐片々

政友豫選またお流れ
御家の一族郎黨は氣を揉む
處かアクビが出るそうだ
最負の引倒しをして常にミ
ソをつけて居る宣傳ビラま
がいの憲派御用紙がいはら
き新聞の柏木君に盛んに毒
つく
○ 蜂の斧を揮つて龍車に向
ふのタグヒ
尻ツパンヨリのゴロツキが

大名に喧嘩を吹き掛けた

柏木君の爲めには餘りに不
足な喧嘩相手
フンと鼻であしらつて吠
えるだけ吠えさせたら最後
にギヤフンと一つ喰らはせ
れば大ていは事すみになる
○ 柏木君其處の呼吸をのみ込
んで泰然自若、アツバレ、
アツバレ

豊間蠶業講話石城郡

豊間村にては同村小學校に
於て四日前九時から蠶業
講話會を開く筈だが講師は
佐久間技手の由

村△二百廿圓、豊間村△
二百廿圓、窪田村
平商佑賢補助本縣知
事から實業教育費補助とし
て平商業學校へ九百八十圓
小學校教員養成獎勵として
私立磐城佑賢學舎に九十三
圓夫々交附さる

ニヤケ男は 旅館の夜をおそふ兇賊

東京其他各地を股に掛け
平町にて捕縛さる
去月廿日夜平町紺屋町住吉
屋本店の投宿客が何者かに
現金十五圓を窃取された爲
め平署にては同夜前記旅館
に止宿した北海道函館市生
れ無職中尾庄二(三)を怪し
と睨み行衛を嚴探中の處昨
日平町を徘徊して居た際栗
城刑事部長に逮捕され嚴重
取調べの結果免れんに由な
く自白する處に依れば同人
は文書偽造前科の一犯を有
し東京を始めとして山形、
宮城を股に掛け旅館の投宿
客を荒し廻つた外各所に於
て詐欺を働いて居た事發覺
したが同人は金ブチ眼鏡を
掛け一見俳優然としたニヤ

簡易保險は 三人に一人

平町の契約割合
東北一の成績
平町に於ける簡易保險契約
口数は約五千口であつて人
口二萬五千に比し約五分の
一に達して居るが前記人口
中には十二歳未滿六十歳以
上の被保險無資格者若干を
包含して居るから實際の處
は三人に一人位の割合で東

眞面目な問題

眞面目な問題
賣淫の業談
にならずと
も、賣淫者
の心理を備
へることは
容易なこと
であるらしい羞恥心の裏面
は娼婦感であつて、此が容
易に轉換し得るもの、やう
である。濡れぬ先こそ露を
も厭へ。一口食つた後は何

義務教育補習

薄弱町村に
石城郡内に於ける資力薄弱
町村に對し國庫より左記の
如く義務教育費を交附さる
上遠野村四七二圓、神谷
村四三九圓、澤渡村四六
八圓、三阪村四八九圓、
永戸村六七五圓、山田村
三二三、小名濱町九一八
豊間村五一八、田入組合
村三八五、飯野村四四三
上下小川組合村四〇〇
發掘した

銅製の五鈴

鈴木氏保管
平町二丁目西村藥舖鈴木堅
助氏は亡父吉兵衛氏が平窪

植田教育協議石城郡
植田方部教育事務協議會は
五日午前十時から植田小學
校に開會左記事項協議の筈
△教育上特に振興を要す
る點如何△當方部教育協
議會施設の事業に改善を
要する點如何△其他

賭博かり

益々擴大す
平署の賭博檢舉は益々擴大
し本日は飯野村及び高久村
方面の常習賭博者十數名檢
舉され署内は是れが取調べ
に忙殺されて居る

キマ界

帝國館修禪寺物語
さても素的月下の桂川
に頼家と桂と初めてあつ
た時、あの美しさはど
うだ夢のやうな繪巻物全
素的もない時代映畫だ、
瑠璃の落付き延松の氣品と美しさ
松代の娘桂、若狭局よく二段を仕
分けた、みどりも可憐、丸山の説
明が、帝國館に丸山を有する
事は平町ファンノ誇りである、大
原の麗也も聲量があつて、頼家、
若狭の別れの場面など随分觀客を
泣かした、我等はこの映畫を見る
事の出來たのを感謝しなくてはな
らない。(Yk生)

平町人事

▲出生
▲新川町 鈴木一郎氏長女ミツ子
▲舊城跡 岡田豊氏四女春枝
▲胡麻澤 小谷山次郎氏長男山男
▲死亡
▲下川原 柴山たき(三三)
▲久保町 徳川龜次郎(六四)

魚河岸問題 影響なし

磐城各濱安心
東京の魚河岸は市場の手續
料問題で昨日から三日間休
業することとなつた爲め石
城郡の魚業地に影響あらん
と當局が種々調査に努めた
ところ江名、仲の作、小名
濱方面への輸送高は一日平
均百卅樽ではれを時價に見

積れば五百圓位に當るが夫

等は平町を中心にカマボコ
其他の需要に迫はるる有様
で捌け口に困らぬから別段
に痛さを感じない
ヒロイモノ △石城郡
好間村根本ミノ子は廿七日
平町八幡神社前にて毛布製
肩掛△平町新川町國府龜藏
氏は同日植田町にて安全カ
ミンリ△石城郡好間村大字
川南小梶榮助氏は同日同村
にて五圓紙幣一枚△平町舊
城跡遠藤ユキ子は廿九日銀
側懷中時計拾得平署に届出

東株前場引値

(本誌) 九七、四〇
先限 九九、一〇